

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

Table with columns for 事務事業名, 交通安全指導事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details on policy system position, budget items, and legal basis.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on safety education and bicycle safety activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various indicators (e.g., 活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 28-32 years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts and costs for 28, 29, and 30 years, categorized by source (e.g., 国庫支出金, 事業費計).

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of business costs) for 29 and 30 years, including a total of 195 for 30 years.

(4) 当該年度の実施内容

Table for 当該年度の実施内容 (Implementation content for the current year) with columns for 30, 31, and 32 years. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	交通安全指導事業	事務事業No.	30301000702	所属課	生活環境課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
昭和30年～40年代に自動車が普及し、特に児童・生徒の交通事故が増加がみられたため交通安全教室での交通ルールマナーの習得ため開始された。近年では、高齢者の交通事故件数の増加がみられ、高齢者に対する交通安全思想の高揚を目指し、交通ルールマナーと新たな交通安全指導が必要とされている。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
<ul style="list-style-type: none"> 全国的に高齢者の死亡事故が多発していることから、高齢者を対象とした事業（自転車の乗り方 など）の充実して欲しいとの要望がある。 全国での通学道路に車が突っ込む事故が相次ぎ、また市においても中学生の事故相次ぎ、通学時にの安全確保の要望がある。 	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	すべての高齢者を対象に直接交通安全指導を行うことは難しいため、チラシ等の全戸配布や市報等に記事の掲載などで指導を検討する。 また、引き続き各区長に、地区での集まりや会合等の際に交通安全出前講座を依頼する。 幼児、小・中学校交通安全教室の開催数は変わらないが、受講人数は減っている。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 児童・生徒から高齢者まで交通安全指導し意識付けすることにより、交通事故減少につながると思われる。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童・生徒から高齢者まで継続的に交通安全指導を行っており、また桜川警察署、交通巡視員、交通安全教育講師の単独での指導は行っていないため、市が調整し行うことは妥当である。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 幼児・小・中学校では、継続的に交通安全指導を実施できるが、高齢者の受講者は、高齢者クラブなど団体に加入している人などに限られてしまっているため、そのほかの人向けの指導事業など検討する必要がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 幼少期から継続的に交通ルールの順守と交通安全指導を行っているため、廃止すると何十年後に交通事故のリスクが高まる可能性がある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 交通安全指導事業と類似する事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 新入学生に対する交通安全発物、交通安全教育講師謝礼、交通公園入場料と必要最小限であり、マンパワーの指導が主であるため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の児童・生徒や高齢者が対象であるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	事前に学校等の要望を聞いて交通安全教室など段取りよく実施しており、問題なく事業を遂行できた。今年度の小・中学生の関係する大きな事故はなかった。 高齢者に対する交通安全指導を充実していきたいと思います。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>